

資料4

第1回宮城県環境審議会循環型社会推進専門委員会議意見一覧

委員名	内容	対応案
	(基本理念について)	
栗永委員	・第1期, 2期には示されていた「持続可能な」のフレーズが除かれているのは, トーンが落ちたように感じる。	・第1期, 第2期と同様に, 副題名において「持続可能な社会の形成に向けたみやぎのチャレンジ」とする。
	(リサイクル率, 最終処分率等の算定式について)	
中山委員	・リサイクル率, 最終処分率等の算定式を記載したほうが良い。	・算定式について記載する。(素案p5,p7)
	(SDGsとの対応について)	
松八重委員	・SDGsのロゴマークが一部貼ってあるが, SDGsはパッケージとして進めるものであり, 小分けにする性質のものではない。	・SDGs全体のパッケージを示した上で, 各基本方針に示す個別のマークは, 特に関連の深いものを示したものである旨明記する。(素案p10)
	(目標値について)	
大原委員 中山委員 冬木委員 松八重委員	・目標値について, 第2期計画の継続が適切かどうか, 検討すべきと考える。	・目標値について検討を行い, 一部見直しを行った。(素案p13)
渋谷委員	・目標値の設定には, 震災の想定を含むのか。	・新たな災害の発生や新型コロナウイルス等感染症の影響については, 第3期計画策定時点で予測することが困難であるため, 想定に含めていない。今後の状況により, 中間見直しの時点で検討することとする。
冬木委員	・予測推計はコロナウイルスの感染防止による生活パターンを含めるのかどうか検討してほしい。食品業界ではリユース率が下がっているのではないかとされている。	・感染症による生活様式の変化については, 文章中で記載する。(素案p17)
中山委員	・産業廃棄物のリサイクル率の将来予測が36.1%であるのに, 第3期計画の目標値が35%であるため, 震災分を除いたリサイクル率を追記してはどうか。	・震災分を除いた数値を追記する。(素案p14)

	<b>(基本方針と「課題と取組」の関連について)</b>	
中山委員 冬木委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本方針と「課題と取組」の関連を整理すべきと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「基本方針」と「課題と取組」の関連を整理し、計画内に記載する。（素案p16）</li> </ul>
	<b>(項目名称について)</b>	
中山委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>「気候変動の影響に伴う大規模災害への対応」と「気候変動」に限定しているが、震災廃棄物を含めるのであれば別の表現が適切と思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「気候変動」の表現を除いた名称に修正する。（素案p16）</li> </ul>
	<b>(県民・事業者の取組について)</b>	
大原委員 松八重委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>次期計画の課題と取組について、県民や事業者がどのように進めていくのが大切となる。事業者が取組を行いやすいよう、旗をふるものであると良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各「課題と取組」において、県民、事業者の役割を記載する。</li> </ul>
	<b>(リデュース・リユースの視点について)</b>	
栞永委員 松八重委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクルの推進のみではごみの排出量自体は減らないので、ごみ自体を出さないリデュース、リユースの視点が重要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「課題と取組」に「廃棄物の発生抑制」の項目を追加し、ごみ自体を出さないための取組を記載する。</li> </ul>
	<b>(ポイ捨て防止について)</b>	
栞永委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>「不法投棄」というと大規模なものが想定されるが、ポイ捨て防止の観点もあると良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポイ捨て防止について記載する。（素案p19,p35）</li> </ul>
	<b>(脱プラスチックについて)</b>	
中川委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>脱プラスチックに係る取組について、バイオプラスチックのみではなく、紙等の代替品についても記載してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラスチックの代替となりうる紙製品の活用についても記載する。（素案p19）</li> </ul>
	<b>(事業者の育成について)</b>	
栞永委員 中川委員 冬木委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>AIやIoTといった先進的な取組や、県内の事業所の優れた取組について、紹介する機会があれば活動しやすい。</li> <li>事業者育成、産業育成の視点があると良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境産業コーディネータ等を通じて、先進的な取組について情報収集し、事業者等に紹介する旨記載する。（素案p27）</li> </ul>
渋谷委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物の排出事業者向けの講習会が例年盛況である。様々な講習の機会を検討することが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県は排出事業者向け講習会のほか、電子manifesto操作体験セミナーや、建設廃棄物適正処理推進セミナー等の講習会・セミナーの機会を設けており、取組について記載する。（素案p30）</li> </ul>

	<b>(感染症対策について)</b>	
栗永委員	・ごみを処理する側の感染症対策について盛り込んでどうか。	・処理業者の感染症対策について記載する。(素案p33)
	<b>(市町村の災害廃棄物処理計画について)</b>	
渋谷委員	・市町村の災害廃棄物処理計画の策定について指導してほしい。	・県が市町村の災害廃棄物処理計画策定を支援する旨記載する。(素案p36)
	<b>(災害廃棄物が発生した際のボランティアについて)</b>	
松八重委員	・災害ボランティアの育成や活用といった観点について計画に入れてどうか。	・災害ボランティアの受入環境整備やリーダーの養成等の体制づくりについて記載する。(素案p36)
	<b>(4Rについて)</b>	
渋谷委員	・リフューズを含めて4Rとしている都道府県もあるので、必要であれば盛り込むのはどうか。	・用語としては、より広く浸透している3Rを使うこととし、リフューズ(要らないものは断り、ごみを発生させない)については、「課題と取組」の内容の中で盛り込むこととしたい。

(各意見ごと五十音順)